

開会あいさつ

姫路市副市長 和田 達也



姫路市都市景観フォーラムの開催に当たりまして、主催者を代表して一言御挨拶を申し上げます。

本日は、多数の皆様方に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。姫路市は緑豊かな山並み、穏やかな瀬戸の海、肥沃な播磨平野など多彩な自然や、姫路城をはじめとする多くの歴史的、文化的資産に恵まれており、姫路市の魅力をさらに高めていくためには、これらの優れた資産を生かすとともに、次の世代に引き継いでいくことが大切でございます。

姫路市では、昭和62年に都市景観条例を制定し、「市民一人一人が、愛着、親しみ、誇りを感じる美しいまち、姫路」を目指して、様々な取組を進めており、近年では、景観はもはや特別なものではなく、地域の個性的な風景や人の営みを含む、身近なまちの価値として浸透してまいりました。

本日のフォーラムは、「みんなで創ろう！姫路らしい景観」をテーマに、第1部では、第12回姫路市都市景観賞表彰式を執り行い、第2部では、大阪や京都で多くの都市再生プロジェクトや公共空間のデザインに関わっておられる、嘉名光市大阪市立大学大学院教授

を講師にお招きし、「生きた景観マネジメント～いきいきとした姫路の景観づくりに向けて」と題してお話をいただきます。人々が主体的に参画する景観まちづくりにどのように取り組めばよいのか、皆様とともに考えてまいりたいと思います。

さて皆様、御承知のとおり、コロナ禍でございます。姫路城に訪れる観光客や見学者は、今年4月から10月までで17万人でございました。通常ですと、100万人以上の方にお越しいただき、姫路城の美しい景観や町並みを見ていただく機会がたくさんあったわけですが、コロナ禍のことで、そういった機会がかなり失われてしまいました。

姫路市としましては、今回のフォーラムなど様々な情報発信をすることによって、そういった観光客だけではなく、多くの方々に姫路に来ていただくような取組を進めてまいりますので、引き続きの御協力をよろしく願います。

最後に、受賞されます関係者の皆様に対し、深く感謝と敬意を表しますとともに、本日のフォーラムが実り多いものとなりますよう祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

